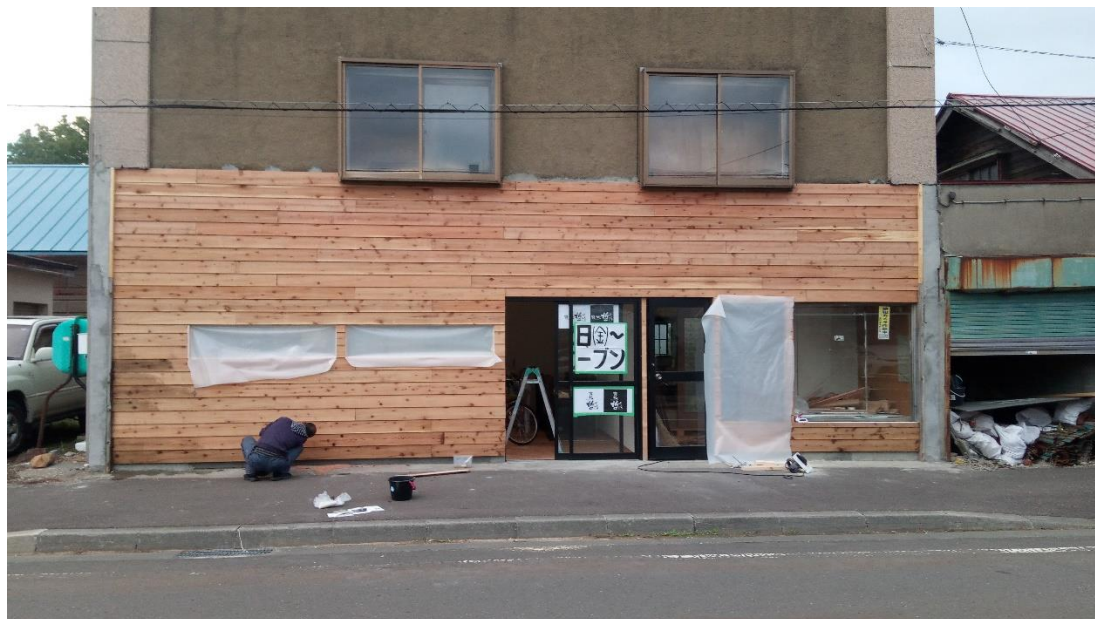


令和元年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

氏名	前田 将克	活動年数	3年
活動目標	日本版メドックマラソンの開催。走ることを通して地域活性化につなげたい。 お世話になった北海道に恩返しをしたい。		
活動内容	<p>主に行った活動は3点あります。</p> <p>1つ目は地域課題である空き家の相続問題を解決し、新たに利用できるスペースとして、空間のデザイン、自ら施工を行った。その結果、2軒の相続問題を解決したとともに、空き家を活用した新たな賑わいの創出に成功した。また、この活動をキッカケに定住するための仕事を少しずつ見つけることができた。</p> <p>2つ目は走るイベント（フルーツ&ワインマラニック）企画・運営に携わり、大会の成功に向けて活動を行った。イベントの自立化に向け協賛金・スポンサー集めや当日のガイドランナー等の手配を行い、大会の開催に向けて尽力できた。様々な方々の協力のもとイベントして、昨年度より参加者の満足度を上げることをでき、仁木町の新たな魅力発見に繋げることができた。第三回大会開催を地域の法人と進めていくことでイベントの自立化に向けて動き出した。</p> <p>3つ目は移住体験住宅のさらなる利用促進を行った。</p> <p>その結果、仁木町を拠点とした冬季間の利用に繋げることができた。夏の新規就農者以外にスノーリゾートのワークオフィスとして、価値を生み出すことができ、今後の銀山エリアの空き家活用の事例になった。</p>		
自己評価	<p>●一年間の自己評価及び進捗状況</p> <p>昨年度にさらにもう一軒の空き家を利活用し、社会課題の解決や地域の賑わいに貢献できた。また、移住体験住宅のさらなる受け入れも行い、3年間で空き家の業務担当として、できる限りの活動を行えた。また、フルーツ&ワインマラニックもたくさんの方々の協力のもと、少しずつ仁木町を代表するイベントになっている。</p> <p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況</p> <p>北海道で走る楽しさを伝えたい。そんな思いの目標でしたが、小さく目標は達成できた。しかし、協力隊最終年度の第三回フルーツ&ワインマラニックを新型コロナウイルスの関係で開催できず、少し心残りがある。</p>		
抱負	仁木町の魅力を知るキッカケづくりや、地域課題の解決にも取り組みたい。		
その他	令和2年4月30日をもちまして、地域おこし協力隊の任期を無事終えることができました。活動期間中に町民の皆さまからいただきました心温まるご支援やご協力に対し、感謝申し上げますとともに、これからも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。3年間本当にありがとうございました。		

※活動がわかる写真を掲載してください。(複数可)



空き家を店舗改装しました

活動写真



フルーツ & ワインマラニック